NCS 看護キャリアサポートセンター

赤ペン読み解き

ゴードン 栄養・代謝パターン（架空の事例）

2026年10月24日

※ 文字がはっきり読める写真を送っていただくことが前提です。読みにくい字は、前後から推測して読んでいます。文字を確かめるやりとりはしていません。

※ 推測で読んだところ

- ⑥の先生の赤ペン「何を観察？」（字がくずれていたため、前後から推測）

※ このPDFに、直した文は入っていません。直した文がほしい方は、赤ペン添削をご利用ください。

9 か所の先生の赤ペンを読み解きました

見たページ：1枚

- 書き直し 4か所　分析や看護問題まで変わる
- 書き足し 3か所　足りないことを書き足す
- 言い回し 1か所　言葉を直す
- 誤字 1か所　字の直し

まず直すところ

② 分析で、栄養がどういう状態かを言い切る

⑦ 分析で挙げた原因を、看護問題に入れる

⑧ 目標を、評価の日に決められる形にする

先生の赤ペンが入った看護過程

赤い波線のところに、先生の赤ペンが入っています。すぐ下の赤字は、先生の赤ペンを活字に起こしたものです。

患者

82歳女性。右大腿骨頸部骨折で人工骨頭置換術を受け、術後7日目。

情報

赤ペン 1

S：「病院のごはんは味が薄くて食べたくない」「入れ歯が合わなくて噛みにくい」

O：身長148cm、体重38kg、BMI 17.3。食事は全粥・きざみ食で、摂取量は主食3割、副食5割。Alb 2.9、TP 5.8。Hb 9.8。[1] 皮膚は乾燥している。仙骨部に発赤なし。創部に発赤・腫脹なし。表情は元気そう。

> ① 単位は？

分析・解釈

赤ペン 5

BMIは17.3であり、低体重である。Albは2.9で低い。[2] 食事摂取量は主食3割、副食5割である。高齢者は加齢により食欲が低下しやすく、消化吸収機能も低下するため、低栄養になりやすいと言われている。[3] また、低栄養は創傷治癒[4] を遅らせるため、注意が必要である。仙骨部に発赤はなく、皮膚の状態は問題ない。[5] 今後も経過を観察していく必要がある。[6]

> ② だから？
>
> ③ 一般論
>
> ④ 癒
>
> ⑤ 本当に？
>
> ⑥ 何を観察？

看護問題

赤ペン 1

#1 栄養状態の悪化[7]

> ⑦ 関連因子は？

目標

赤ペン 1

栄養状態が改善する[8]

> ⑧ 評価できる目標に

看護計画

赤ペン 1

OP：食事摂取量の観察、体重測定

TP：食事介助

EP：栄養の必要性を指導させる[9]

> ⑨ させる×

赤ペンごとの読み解き

先生がその赤ペンで何を求めているかと、直すのに足りない情報です。直した文は入っていません。

① 情報　書き足し

Alb 2.9、TP 5.8。Hb 9.8。

先生の赤ペン

単位は？

先生が求めていること

検査値に単位が付いていない、という指摘です。先生は、単位と基準値を付けて、どれくらい外れているかが分かる書き方を求めています。

直すのに足りない情報

> それぞれの検査値の単位、実習先の基準値、採血した日。

② 分析・解釈　書き直し

BMIは17.3であり、低体重である。Albは2.9で低い。

先生の赤ペン

だから？

先生が求めていること

数値が低いことを並べただけで、そこから患者がどういう状態なのかが書かれていない、という指摘です。先生は、数値と食事の量を合わせて、栄養がどういう状態かを言い切ることを求めています。

直すのに足りない情報

> 食事の提供量と、体重から出した必要量。手術の後の炎症の影響を見るためのCRP。

③ 分析・解釈　書き直し

高齢者は加齢により食欲が低下しやすく、消化吸収機能も低下するため、低栄養になり

やすいと言われている。

先生の赤ペン

一般論

先生が求めていること

教科書に書いてある高齢者一般の話で終わっていて、この患者のことが書かれていない、という指摘です。先生は、この患者の年齢、発言、生活に当てはめることを求めています。

直すのに足りない情報

> 入院前の食事の様子（量、回数、誰が作っていたか）。入れ歯の状態。

---

④ 分析・解釈　　誤字

創傷治癒

先生の赤ペン

癒

先生が求めていること

「癪」は「癒」の書き間違い、という指摘です。

直すのに足りない情報

> なし。

---

⑤ 分析・解釈　　書き直し

仙骨部に発赤はなく、皮膚の状態は問題ない。

先生の赤ペン

本当に？

先生が求めていること

発赤がないことだけで「問題ない」と言い切っている、という指摘です。先生は、体重、Alb、皮膚の乾燥、動ける範囲を合わせて判断し直すことを求めています。

直すのに足りない情報

> 安静度と離床の状況。自分で体位変換ができるか。実習先で使っている皮膚の評価の点数。

---

⑥ 分析・解釈　　書き足し

今後も経過を観察していく必要がある。

先生の赤ペン

何を観察？

先生が求めていること

結論が「観察が必要」で終わっていて、問題があるのかないのかが分からない、という指摘です。先生は、問題の有無を言い切り、このまま続くと何が起きそうかを書くことを求めています。

直すのに足りない情報

> リハビリの進み具合と、日中の活動量。

---

⑦ 看護問題　　書き直し

#1 栄養状態の悪化

先生の赤ペン

関連因子は？

先生が求めていること

看護問題に、原因（関連因子）が書かれていない、という指摘です。先生は、分析で挙げた原因を問題文に入れ、分析と問題の言葉をそろえることを求めています。

直すのに足りない情報

> 学校が指定する看護問題の書き方（看護診断名を使うか）。

⑧ 目標

書き足し

栄養状態が改善する

先生の赤ペン

評価できる目標に

先生が求めていること

何で測るか、いつ評価するかが分からず、達成したかどうかを決められない、という指摘です。先生は、期限と、測れる行動や数値を入れることを求めています。

直すのに足りない情報

> 評価の日。目標にする食事の量（必要量の計算の結果と、指導者との相談で決める）。

⑨ 看護計画

言い回し

EP：栄養の必要性を指導させる

先生の赤ペン

させる×

先生が求めていること

「〜させる」は患者を主体にしていない言い方、という指摘です。先生は、患者を主語にした言い方と、誰に何を説明するかを書くことを求めています。

直すのに足りない情報

> 患者が食事について何と話しているか。

直す順番

この順に直すと、ほかの欄も直しやすくなります。

1	②	分析・解釈　分析の結論が決まると、看護問題と目標が直せる
2	③	分析・解釈　この患者に当てはめると、原因がはっきりする
3	⑤	分析・解釈　皮膚の判断を直すと、2つ目の問題があるかが分かる
4	⑥	分析・解釈　問題の有無を言い切ると、分析がまとまる
5	⑦	看護問題　分析で挙げた原因を入れる
6	⑧	目標　看護問題が決まってから目標を直す
7	①	情報　単位と基準値を書き足す
8	⑨	看護計画　言い回しを直す
9	④	分析・解釈　字を直す

おまけ

ほかの記録を書くときにも使えます。

栄養・代謝パターンで先生が見るポイント

- [ ] 身長・体重・BMIと、入院前からの体重の変化
- [ ] 食事の形態と提供量、食べた量、必要量との比べ
- [ ] 食べられない原因（歯や義歯、飲み込み、食欲、好み、痛み、気分）
- [ ] 血液データ（Alb、TP、Hb、血糖など）と、炎症（CRP）の影響
- [ ] 水分の摂取量と出納、脱水やむくみ
- [ ] 皮膚の状態（乾燥、発赤、褥瘡のおそれ）と創部の治り
- [ ] 治療の影響（絶食、点滴、薬の副作用）
- [ ] ほかのパターンとのつながり（活動・運動、排泄、認知・知覚）

提出前の自分チェック

- [ ] 情報を書き写しただけになっていないか。「だから何が言えるか」まで書いたか
- [ ] 「問題ない」「正常」と書いたところに、比べた基準や計算があるか
- [ ] 教科書の説明だけで終わっていないか。患者の数値、発言、生活が入っているか
- [ ] 「経過を観察する」で終わっていないか
- [ ] 分析で挙げた原因が、看護問題と計画に入っているか
- [ ] 目標は、評価の日に達成したかどうか決められる形か
- [ ] 計画は、誰が読んでも同じことができる書き方か

赤ペン添削のご案内

直した文がほしい方は、看護師が直した文と、先生への返答文をお作りします。

あなたの赤ペン添削（1枚、料金に数える赤ペン 8か所）

14,800円

10月31日までのお申し込みなら、今回の 980円 を差し引いて 13,820円

料金の決め方：1枚ごとに、赤ペンが1〜5か所 9,800円、6〜10か所 14,800円、11か所から 19,800円。誤字だけの赤ペンは数に入れていません。

赤ペン添削でお渡しするもの

- 直した文（Word。直したところは赤字、理由はコメント）
- 先生への返答文の例
- 足りない情報や読めなかった字は、LINEで1回おうかがいします
- 看護師が全部見て仕上げます

頼み方：LINEで「赤ペン添削」と送ってください。

学習用の参考です。提出物はご自身の言葉で書き、学校や実習先のルールに従ってください。デジタルの資料のため、お届けしたあとのキャンセルや返金はお受けしていません。